

令和6年度植物友の会活動記録

井上尚子・久保晴盛・富澤まり

はじめに

植物友の会は、植物に興味を持つ一般の方々から募集した人の集まりで、植物公園を活動の場として植物愛好者が集い、植物・園芸に関する知識・技術の向上を図り、自然保護の心を育てることを目的に、昭和54年10月に設立された。

令和7年1月現在、会員数は個人会員が89(−2)名、家族会員が28組63(+8)名の計152名であった。〔()内は前年度同月からの増減〕

活動

年6回の例会、年2回の野外観察会、会誌「はなの輪」の発行などを主な活動として行った。また、園内ボランティア(友の会ボランティア)、部会活動(植物同好会)などは通年で活動した。

(1) 例会

2か月に1回の定例会を展示資料館2階講堂で行った(表1)。栽培・展示課職員が持ち回りで行う年4回の「季節の園芸作業」(写真1)のほか、招聘した外部講師、ハーブ研究家 梶原美恵子先生による特別講義「インドアカネを使った草木染の講習会」を実施した(写真2、3)。また秋の夜間開園で夜に鳴く虫も楽しんで頂けるように「鳴く虫講習会」を開催した(写真4)。さらに第2、3、5回例会では、ボランティア活動で事前に準備をして、事務局もしくはボランティアが講師を務める講習会を実施した(写真5〜7、表1)。



写真1 季節の園芸作業

表1 例会の内容 ()内は講師

第1回	フクシアの春の管理* (太田技師)
5月12日	春の草花の管理* (中川技師)
参加者25名	園内の見どころガイド
第2回	温室植物の夏場の管理について*
7月7日	(上野明技師)
参加者33名	変化朝顔を育ててみよう* (山本技師)
	除虫菊で線香作り (友の会会員)
第3回	ゼラニウムの挿木* (田中技師)
9月8日	土づくりについて* (中川技師)
参加者31名	鳴く虫講習会 (佐藤技師)
	植物で虫かごづくり (友の会会員)
第4回	特別講義「インドアカネを使った草木染の講習会」
11月10日	講師:ハーブ研究家 梶原美恵子氏
参加者28名	
第5回	冬の鉢花管理* (太田技師)
1月12日	カンアオイの育て方* (佐藤技師)
参加者27名	雪吊りの飾りを作ってみよう (事務局)
第6回	総会
3月9日(予定)	園内植物ガイド

* 季節の園芸作業



写真2 特別講義の様子(梶原美恵子先生)



写真3 インドアカネで染めた作品



写真4 鳴く虫講習会



写真5 ボランティア会員講師によるシュロのバツタ作成の様子



写真6 ボランティア会員講師によるシュロのキンギョ作成の様子



写真7 タラヨウとクロマツで作った虫かご

(2) 観察会

第1回の観察会は広島大学薬学部附属薬用植物園で開催した(表2)。まず副園長の小川恵子教授から園内の薬用植物についての説明があり、セイロンニッケイやアカヤジオウなどの植物を観察した。続いて広島大学病院漢方診療センター鍼灸師の瓜生ゆかり氏はじめ、スタッフ指導の下で針や灸の体験やビワ茶と大棗の試食等を提供していただき、楽しい観察会となった(写真8、9)。

2回目は3月11日に広島県山県郡安芸太田町津浪で開催し、ホソバナコバイモを観察する予定である(12月現在)。

表2 野外観察会の開催地と場所

第1回 令和6年5月15日 参加者数20名	・広島大学薬学部附属薬用植物園
第2回 令和7年3月11日 (予定)	・ホソバナコバイモの観察 山県郡安芸太田町津浪



写真8 第1回観察会の様子



写真9 針や灸の体験の様子

(3) 園内ボランティア

原則第1・第3火曜日に有志を募って通年で開催した(表3)。除草や植え付けなどの植栽管理、ハンギングバスケット作成やクリスマス飾るフラワー展の装飾など多岐にわたって活動した(写真10～19)。特に今年度は園が開催するワークショップへの協力を新たに実施した。これについては別項にまとめる。

表3 令和6年度友の会ボランティア活動記録

活動月	活動内容	のべ 人数
1月*	植物クラフト作り	14
2月*	特別ラン展手伝いほか	27
3月*	植物管理(ログガーデン)、さくらまつり飾り付け	53
4月	植栽管理(カスケード、ログガーデン)、ワークショップ準備	28
5月	ワークショップ、植栽管理(ログガーデン、カスケード、あずま屋周辺、栽培温室)	38
6月	植栽管理(カスケード・ログガーデン、食虫植物)	20
7月	植栽管理(アジサイ)、除虫菊イベント準備	19
8月	植栽管理(カスケード、ログガーデン、アナベル)、除虫菊イベント準備、実施	25
9月	植物管理(カスケード、ログガーデン)、ハンギングバスケット作成、例会準備(草花あそび)ほか	25
10月	植栽管理(ログガーデン、ジョチュウギク、展示資料館周り)、ワークショップ準備、クリスマス展飾り作りほか	23
11月	ワークショップ、クリスマス展飾り付、ハンギング作成ほか	37
12月	クリスマス飾り、正月飾り作成 展示資料館ロビー及び展示資料館前 装飾ほか	39

*1～3月については前年度の実績を記録する



写真10 ハンギングバスケットマスターの資格を持つ会員による作成指導の様子



写真11 春の特別ラン展 飾り付け作業の様子



写真12 押し花入ランプシェード作成作業の様子



写真13 さくらまつりの飾り付け



写真14 ログガーデンの除草作業の様子



写真 15 カスケードのハンギングの花がらとり作業の様子



写真 19 「クリスマス飾るフラワー展」に用いる装飾作成の様子



写真 16 ボランティア活動時の会員指導のクラフト作りの様子



写真 17 展示資料館ロビーに飾った会員の作品



写真 18 種まきから育てたハボタンの展示

(4) ワークショップ（ボランティア）

令和 6 年度は、植物公園主催のワークショップに友の会ボランティア活動の一環として、初夏、夏、秋の 3 回協力した。その内容は（写真 20 ～ 24、表 4）のとおりである。

表 4 ワークショップ（ボランティア）

活動日時 (参加会員数)	イベント名	参加人数 (来園者)
5 月 6 日(月) 10:00 ～ 15:00 (16 人)	友の会ワークショップ ～たまごのからからで きたプランターにお絵 かきして季節の植物を 植え付けよう～	38 人
8 月 19 日(月) 10:00 ～ 11:30 (10 人)	虫よけの話と除虫菊で 線香づくり体験（除虫 菊で線香づくり体験部 分を担当）	30 人 (全体 56 人)
11 月 2 日(土) (12 人予定)	お絵かきでオンリーワ ンのプランターづくり	荒天で中止
11 月 4 日(月) (7 人)	お絵かきでオンリーワ ンのプランター作り*	100 人

※ 諸事情で臨時に開催した



写真 20 友の会ワークショップの準備の様子



写真 21 シロバナムシヨケギクからの線香づくり使用部分の仕分け作業の様子



写真 22 「除虫菊で線香づくり体験」の様子



写真 23 「お絵かきでオンリーワンのプランターづくり」の様子



写真 24 「お絵かきでオンリーワンのプランターづくり」の様子

(5) 会誌「はなの輪」の発行

A4 版 8 ページ（観音開き）のリーフレットとして、植物の育て方や園内の見どころなどを紹介した会誌「はなの輪」を各号 400 部発行し、会員のほか関係団体へ配布した（表 5）。また、会員向けのニュースレターを例会毎に発行した。

なお、はなの輪については、植物公園の機関誌として内容を再編集したものを各号 1500 部発行し、広島市内の区役所や公民館等に配布した。

表 5 会誌「はなの輪の発行」

令和 6 年 4 月	2024 通巻 179 号（春～初夏号）
令和 6 年 7 月	2024 通巻 180 号（夏号）
令和 6 年 10 月	2024 通巻 181 号（秋号）
令和 7 年 1 月	2025 通巻 182 号（冬～初春号）

(6) 部会

友の会内の部会は、現在は植物同好会のみが活動しており、その活動は植物公園の運営下ではなく自主的に運営されている。例年、植物同好会では、2 か月に 1 回、友の会例会前の午前中に会合（例会）を開いており、部会員が栽培・育成した苗物の交換も随時行っている。また、4 月のサクラソウ展では出品（展示）への協力をしている（写真 24）。



写真 25 サクラソウ展の様子

所感

令和 6 年度は、友の会のボランティアとしてはじめて植物公園主催のワークショップに協力し、来園者に好評をいただいた。今回の事例を踏まえ、改善を加えながらこの活動を発展させていきたい。

また年に 6 回の例会のうち特別講義と総会がある 2 回以外の 4 回は、事務局と会員が協働して講習会を準備実施した。今後も会員の興味や自主性を尊重し、満足度の高い活動となるように努めたい。